

## 2012岡山スカウトキャンプリー 実施要項

1. 名 称 2012岡山スカウトキャンプリー
2. 開催趣旨 第16回日本ジャンボリー及び第23回世界スカウトジャンボリーに向け、技能、体力並びにチームワークその他の準備を行う野営とし、実施をとおして野外活動の楽しさを実感する。
3. テーマ ホップ！ ステップ！ スキルアップ！ ～そなえよつねに～
4. 期 日 平成24年7月26日（木）～29日（日）
5. 会 場 「塩釜キャンプ場」  
〒717-0504 岡山県真庭市蒜山下福田27-50  
TEL/FAX 0867-66-3959  
<http://www.salvo-ryobi.co.jp/shiogama/01about.html>
6. 主 催 日本ボーイスカウト岡山連盟
7. 共 催 ガールスカウト岡山県連盟
8. 後 援 岡山県、岡山県教育委員会、真庭市、真庭市教育委員会(申請予定)
9. 協 力 財団法人ボーイスカウト岡山連盟維持財団
10. 参加者
  - ・平成24年度加盟登録したボーイスカウト及びベンチャースカウト
  - ・ガールスカウト岡山県連盟が別途定めた者
11. 奉仕者
  - ・平成24年度加盟登録したローバースカウト、団委員、指導者及び保護者
  - ・ガールスカウト岡山県連盟が別途定めた者
12. 参加者数 約300名（参加者及び奉仕者計）
13. 参加費 1名 3,000円（記念品代、野営場使用料他）  
※プログラム参加費、食材費等は別途必要
14. 隊編成 原隊の班を基準に各地区で隊編成を行う。  
なお、第16回日本ジャンボリーの準備野営であることを踏まえ、その派遣隊編成を基に指導者及びスカウトの編成を行うものとする。  
※ガールスカウトは別途定める。
15. プログラム
  - (1) 全体プログラム（開閉会式、キャンプファイヤー、宗教儀礼）  
※大会本部が担当
  - (2) 各隊プログラム（技能挑戦プログラム、交流プログラムなど）  
※各地区及び編成隊指導者が担当
    - 1・4地区担当（通信、野外料理、キャンプクラフト）
    - 2地区担当（結索オリエンテーリング、写真オリエンテーリング）
    - 3・5地区担当（火起こし）
  - (3) ベンチャースカウト向けプログラム  
（野営章・炊事章・野営管理章挑戦）  
※各団ベンチャー隊指導者と大会本部が担当

- (4) ローバースカウト向けプログラム  
 ※各団ローバー隊指導者と大会本部が担当
- (5) その他
16. 特別プログラム 上進章スカウトキャンプ  
 期 日 平成24年7月28日(土)～29日(日)  
 対 象 カブくまスカウト、指導者及び保護者  
 参加費 1名 1,000円(記念品代、野営場使用料他)  
 ※各団カブ隊指導者が担当(大会本部は支援)  
 ※野営装備と食事は原隊と編成隊で準備
17. 保 険 そなえよつねに保険へ加入していない者については、各自の責任において保険に加入するものとする。
18. 持 参 品 野営設備一式、別途参加プログラムの概要にて指示されたもの。
19. 安 全 管 理 (1) 安全ノートの配布と徹底及びスタッフを配置する。  
 (2) 交通事故等を含めて安全対策は各自の責任において行う。
20. 輸 送 (1) 参加者の集散、装備品の輸送は参加者の責任において行う。  
 (2) 公共交通機関を利用することが望ましいが、やむなく自家用車に同乗するときは、自動車保険加入は必須であり、交通事故には十分な配慮を必要とする。
21. 駐 車 場 キャンプ場の駐車場を利用する。
22. 申 込 方 法 別紙参加申込書に参加人数を記入し名簿を添えて、申込期日までに日本ボーイスカウト岡山連盟事務局に提出すること。参加費は参加申込書記載の方法で納入すること。
23. 申 込 期 日 平成24年6月26日(火)
24. そ の 他

# 2012岡山スカウトキャンポリー 日程表

平成24年5月19日

時間	第1日目 7月26日	第2日目 7月27日	第3日目 7月28日	第4日目 7月29日
5:00				
6:00		起床	起床	起床
7:00		朝食	朝食	朝食
8:00		隊点検・朝礼 スカウトタウン	隊点検・朝礼 スカウトタウン	隊点検・朝礼
9:00				E 宗教儀礼
10:00		A 午前の プログラム	C 午前の プログラム	閉会式
11:00	※午前中からの 設営も可能			
12:00		昼食	昼食	撤営
13:00				
14:00	受付			
15:00	設営	B 午後の プログラム	D 午後の プログラム	退場
16:00				
17:00	夕食	夕食	夕食	
18:00				
19:00			隊の時間	
20:00	開会式	隊交歓	キャンプファイヤー	
21:00	隊の時間		隊の時間	隊の時間
22:00				
23:00	消灯・就寝	消灯・就寝	消灯・就寝	

※ベンチャー集会並びにローバース集会については、参加者の状況により適宜開催する。

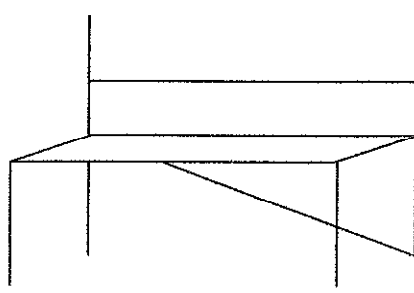
## 2012岡山スカウトキャンポリー 地区担当プログラム

参加区分	プログラム実施時期	対象ターゲットバッジ ( D 3 )
班 個人	2日目 午前・午後 3日目 午前・午後	コーナー名称  通信
責任者	西本 (真庭 3) 植中 (岡山 4)	
準備品		使用面積
<input type="radio"/> 担当者準備品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無線機 1 対</li> <li>・ 120～180cmの棒</li> </ul>		予算額
<input type="radio"/> 参加者 (班・個人) の持ち物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 手旗</li> <li>・ 60cm四角の旗</li> <li>・ BSHB</li> <li>・ 手旗 (あれば)</li> <li>・ 筆記用具 (メモ帳・ペン)</li> </ul>		
内容		
<p>《手旗》(D3-1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 持ち方と原姿</li> <li>・ 原画(数字)の動作練習</li> <li>・ 文字の動作説明</li> <li>・ 20文字程度の文章の送受信をゲームとして行う。</li> </ul>		
<p>《無線機の使用》(D3-3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 携帯電話と無線機の違い</li> <li>・ マナーの説明</li> <li>・ 免許の不要な無線機の取り扱いと送受信 (アマチュア無線機は免許が必要です)</li> </ul>		
<p>《モールス信号》(D3-6) ※この課目は現時点では3日目午後のみ対応可</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 棒と旗を使用してモールス信号を送受信する</li> <li>・ 右へ15°旗を振って元に戻すと『トン』(短点)</li> <li>・ 右へ大きく旗を水平以下まで振って元に戻すと『ツー』(長点)</li> <li>・ 手旗より大きい60cm四角の旗を</li> <li>・ 長さ120～180cmの棒の先端に取り付けて</li> <li>・ 『トン』(短点)と『ツー』(長点)の組み合わせで単語をつくり</li> <li>・ ゲーム化して送受信を行い、内容の正確さを競う。</li> </ul>		

2012岡山スカウトキャンプリー  
地区担当プログラム

参加区分	プログラム実施時期	対象ターゲットバッジ ( E2、F3、F4 )
班	2日目 午前・午後 3日目 午前・午後	コーナー名称 野外料理 「ワイルドに料理だぜえ！！」
責任者	天野 勲 長町 美波	
<b>準備品</b> ○ 担当者準備品 ・ 受付用机1、椅子2 ・ 薪、なた、調味料(塩・しょうゆ)、割り箸、アルミホイル、牛乳パック、ゴミ袋 ○ 参加者(班・個人)の持ち物 ・ 調理に必要な物(薪以外)、ビニール袋、マッチ ・ 参加費 1人400円		<b>使用面積</b> 蒜山塩釜養魚センター ・ キャンプ場炊事場  <b>予算額</b> 10,000円
<b>内容</b> ・ 養魚センター釣り堀にて、ニジマス・ヤマメ等を一人一匹釣る ・ 養魚センターにて釣った魚を各自で捌き、キャンプ場へ持ち帰る ・ 炊事場にて、薪を使い各班で考えてきた方法で調理する  <b>事前課題</b> 各班、調理器具を使わない川魚の調理法を考えてくる (塩焼き、ホイル焼 など)  <b>釣り堀料金</b> 釣竿1,000円(竿1本・餌・魚500g込み) ※ 500gを超えると100gにつき250円の追加料金  <b>&lt;注意&gt;</b> ・ 調理時、竹串などの取り扱いに注意 ・ 火の扱い及びなたの使用に注意する ・ 釣りで怪我をしたり他の人の迷惑にならないよう、周囲を確認 ・ 釣り上げた魚は釣り堀に戻さない		

2012岡山スカウトキャンプリー  
地区担当プログラム

参加区分	プログラム実施時期	対象ターゲットバッジ (キャンプクラフト)
<input type="radio"/> 班 <input type="radio"/> 個人	2日目 <input type="radio"/> 午前 <input type="radio"/> 午後 3日目 <input type="radio"/> 午前 <input type="radio"/> 午後	コーナー名称
責任者	横山卓生 (西大寺1) 山田貞秀 (岡山17)	<b>バンブー大作戦</b>
<b>準備品</b> <input type="radio"/> 担当者準備品 ・竹材 ・結索用ロープ ・設計図 ・手入れ用品 ・包丁 ・まな板 ・ごみ袋 ・食材 <input type="radio"/> 参加者 (班・個人) の持ち物 ・ノコギリ ・ナタ ・ナイフ ・軍手 ・救急箱 ・材料費 (製作した調理台を持ち帰る場合)		<b>使用面積</b> 10m × 10m  <b>予算額</b> 5000円  ※一度に製作する 班数等により増減
<b>内容</b> <input type="radio"/> 調理台の製作 (約2時間) <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計図を渡し製作方法並びに安全について説明</li> <li>・使用するロープ結びの復習</li> <li>・製作</li> <li>・実際に使用してみる</li> <li>・解体 (持ち帰る場合はなし)</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">           ※調理台概略図   </div> <input type="radio"/> (使った) ナタ等の手入れ (約30分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・手入れの意義、方法並びに安全について説明</li> <li>・実際に手入れする</li> </ul>		

2012岡山スカウトキャンプリー  
地区担当プログラム

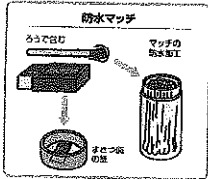
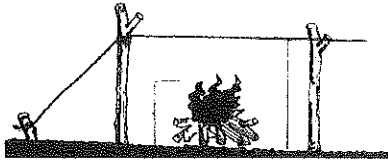

参加区分	プログラム実施時期	対象ターゲットバッジ ( )
班	2日目 午前&午後 3日目 午前&午後	コーナー名称
責任者	第2地区	結索OL
準備品		使用面積
<input type="checkbox"/> 担当者準備品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポイント地図</li> <li>・ ポイント課題 (結索見本、ロープ)</li> <li>・ 採点表</li> </ul> <input type="checkbox"/> 参加者 (班・個人) の持ち物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロープワークの本</li> </ul>		予算額 30,000円
<p>内容</p> <p>・ 蒜山高原内でポイントを10箇所程度指定し、そのポイント毎に異なる結索の課題を出し、帰着時間の早さとポイントでの点数の合計を競う。</p>		

## 2012岡山スカウトキャンプリー 地区担当プログラム

参加区分	プログラム実施時期	対象ターゲットバッジ ( )
班	2日目 午前&午後 3日目 午前&午後	コーナー名称
責任者	第2地区	聖地巡礼
準備品		使用面積
<input type="checkbox"/> 担当者準備品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒜山の観光マップ</li> <li>・ ポイント写真作り</li> <li>・ 採点表</li> <li>・ PC&amp;プリンター</li> </ul> <input type="checkbox"/> 参加者(班・個人)の持ち物 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ カメラ(データ出力ができるように)</li> </ul>		予算額 30,000円
内容 ・ 蒜山高原内で聖地(ポイント)を10箇所程度設定し、そのポイントの写真を撮ってきて、帰着時間の早さとポイントでの点数の合計を競う。		



## 2012岡山スカウトキャンプリー 地区担当プログラム

参加区分	プログラム実施時期	対象ターゲットバッジ(燃料 E4 / たき火 E6)
班 個人	2日目 午前・午後 3日目 午前・午後	コーナー名称  <p style="text-align: center;">火起こし</p>
責任者	岡本 明広	
準備品		使用面積
<input type="radio"/> 担当者準備品 ・ まっち、防水加工用の蠟(マニキュア) ・ まき、麻ひも ・ (火起こし器、携帯用コンロ)		20 m <sup>2</sup>
<input type="radio"/> 参加者(班・個人)の持ち物 ・ 軍手、なた、ナイフ等		予算額
		8,000 円
内容		
1) 防水マッチを作る。		
		
2) マッチ2本を使って火起こしゲームをする。		
		
(火起こしの時間を計測し、優秀班を表彰する。)		
※追加プログラム		
① 火起こし器(舞ぎり式)を使った火起こし体験		
		
② 携帯用コンロやランタンなどの説明と操作		